

守山保護区（守山市・野洲市）保護司会

保護司だより

事務局：守山・野洲 更生保護サポートセンター 第40号

〒520-2413 野洲市吉地1131番地 中主地域包括支援センター内 TEL・FAX 077-584-5702

守山保護区保護司会は
社会を明るくする運動や
更生保護活動を
守山市・野洲市と共に
取り組んでいます

『明るいまちづくりをめざして』

守山市長 森中 高史



保護司の
皆様方には、
日頃より、
更生保護活
動にご尽力いただき心から感
謝申し上げます。また、昨年
の大変痛ましい保護司殺害事
件の社会的影響が懸念される
中、今日まで熱心に活動を継
続いただいておりますことに、
心から敬意を表します。

様々な複合的な問題があるよ
うに感じます。
本市では「人と人がつなが
り、自分らしく安心して暮ら
すことができるまち」を基本

地域ぐるみで明るい社会づくりを

野洲市長 櫻本 直樹



守山保護
区保護司会
の皆さまに
おかれまし

さて、昨今、トークリウと
呼ばれる匿名・流動型犯罪グ
ループによる犯罪行為が広く
報道されるなど、身近な犯罪
に対して不安を抱かれる方も
多くおられると思います。犯
罪の背景には、規範意識や地
域での人と人のつながりの希
薄化のほか、生活困窮など、

では、日頃から犯罪や非行を
した人たちの立ち直り支援や
非行防止、青少年の健全育成
など、明るい地域社会を築く
ためにご尽力いただしていま
すことに、心から敬意と感謝

保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に
尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、
犯罪や非行の予防に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

理念とした、第四期守山市地
域福祉計画と、その付随計画
である地域再犯防止推進計画
の下、更生保護の諸活動を推
進していますが、犯罪や非行
をした人の立ち直りには、地
域社会のあたたかい心が重要
です。その心こそが社会を明
るく照らす光であり、地域全
体が、偏見なく、立ち直りを

を申し上げます。

さて、テレビや新聞では、
毎日のように事件や犯罪のニ
ュースが報道されており、凶
悪犯罪や高齢者を狙った特殊
詐欺の被害は深刻な情勢が続
くなど、犯罪に対して不安を
抱く方が少なくないと思い
ます。

こうした犯罪が生じる背景
には、物価高騰などによる生
活困窮や地域からの孤立など
が考えられます。罪を犯した
人が、社会の一員として立ち
直るためには、本人の強い意
志や行政等の働きのみなら
ず、地域での適切な支援が不

見守り支えることで、より安
全で安心な明るい社会となっ
ていくものと考えます。引き
続き、保護司の皆さまのお力
添えを賜りますようお願いい
し、守山保護区保護司会のま
すますのご発展と、皆さまの
ご健勝、ご活躍をお祈り申し
上げます。

可欠であり、彼らに寄り添
い、温かく見守ることが大切
です。

このような中、本市では、
地方再犯防止推進計画を策定
し、更生支援の推進が再犯の
防止に至るという考えの基
に、犯罪や非行を起こしにく
い地域づくりを推進し、すべ
ての困りごとを受け止められ
るよう包括的な相談（断らな
い相談支援）の体制づくりに
努めています。

保護司の皆様方には、地域
に根ざした活動に一層取り組
んでいただくことをご期待申
し上げるとともに、守山保
護区保護司会の
益々のご発展を
ご祈念申し上げ
ます。



少年の保護観察について

大津保護観察所 統括保護観察官

河本 朱美



少子化が進む中、子どもを取り巻く状況は

どうなっているでしょう。学校におけるいじめの認知件数、暴力行為の発生件数等、令和五年度は過去最高の件数

であったことが報告されています。以前よりもきめ細かく把握されるようになったための増加も含まれていると思いますので、これだけで以前よりも暴力やいじめが増えているとも言いきれませんが、先日、発表された二〇二四年の

自殺件数では、小中高生の自殺が統計開始の一九八〇年以降で最多でした。
大津保護観察所における少年事件（家庭裁判所で保護観察決定を受けた少年、少年院を仮退院して保護観察を開始した少年）の開始件数を比較してみると、減少が続ける中、令和二年以降コロナ禍の影響もあり大幅に減少していましたが、令和五年に増加に転じ令和六年は、再び減少し

ました。令和六年、非行名別では、多い順で「傷害・暴行」「窃盗」「道路交通法違反」「大麻取締法違反」の順となりました。犯罪白書の同様の統計（令和五年）では、「窃盗」「傷害・暴行」「道路交通法違反」「大麻取締法違反」の順でしたので、滋賀県は、全国的な傾向に比べ「傷害・暴行」の非行が多いと言えます。「カットとなって殴ってしまった。」というもののほか、

「遊びのつもりだった。」という理由もあり、いじめのようにも思えます。その他、スマートフォンやSNSの普及により、盗撮や、性的な動画の送信等による非行も増えており、非行がより見えにくくなっていると感じています。改めて「対話」の機会を大切に、一人一人の考えや気持ちを受け止めていくことが大切ではないかと感じています。

第74回「社会を明るくする運動」

作文コンテスト 中学生の部 優秀作品

新たな被害者を生まないために

守山北中学校 一年生 林 莉渚

みなさんは、十二年前に京都府亀岡市で起った交通事故を知っていますか。私は学校の人権学習で、交通事故で娘を失った小谷さんからお話を聞いて知りました。

交通事故は平成二十四年四月二十三日、京都府亀岡市で起きました。当時十八歳の少年が無免許で運転していた車が登校中の小学生の列に突っ込み、児童二人と妊娠中の女性死亡し七人が重軽傷を負

った事件です。私は、このような事件・事故をよくニュースで耳にします。小谷さんにお話を聞いて一、二分で報道されている事件・事故は沢山の人が辛い思いをしているんだと改めて気づき、私はこの事件についてもっと知りたいと思いました。

この事件で妊娠中の娘を失った中江さんは様々な犯罪を犯した元受刑者たちの更生支援を行う「犯罪更生保護団体

ルミナ」を設立し出所者を受け入れて一緒に活動していて、事故現場の通学路に行き来する子どもたちを見守って欲しいという思いで元受刑者と一緒に防犯カメラを設置されました。私はこの活動はとても大切だと思います。なぜなら、社会の中に居場所があれば立ち直りの可能性が高くなると思うけど、逆に社会から孤立してしまうと、再犯やうつ病になる可能性が高くなると思うからです。なら、社会に出所者の居場所をつくるために私は、元受刑者同士で、悩みを相談でき

る場や電話や匿名のチャット相談がもっと増えてもっと世の中に知られていくべきだと思います。しかし、もしも自分が出所者の立場なら例えば、いじめや虐待の相談窓口は沢山あるけれど、出所者の悩みについて相談できる窓口は少ないし、なんでも相談している窓口だったとしても少し言いつらいと思います。だから、

つながる

の絆 ～



出所者の悩みについて相談できる窓口を増やし、出所するときに出所者へこのような相談窓口を紹介すれば出所者も社会復帰しやすいと思います。

また、殺人、交通犯罪、いじめ等により理不尽に生命を奪われた犠牲者がメッセンジャーとなり未来の生命を守るためのメッセージを伝える「生命のメッセージ展」が行なわれました。犠牲となった人の等身大パネルと実際に使った



いた靴が展示されていて中江さんの娘さんの靴と等身大パネルも展示されました。元受刑者のAさんが中江さんにメッセージ展の会場に連れて行って貰い、インタビューを受けているニュース映像を見ました。私はそれを見て、罪を犯した人は、時間が経って出所するころには、被害者への感情が薄れてしまうかもしれないけれど出所後、このような会場に行くと、きつと被害者の思いを感じることができて再犯する可能性も低くなると思います。

私は、出所者が偏見や悪意のある噂で社会から孤立するのは絶対に良くないと思うし、それがまた、罪を犯す原因になつてしまうかも知れないので、出所者を受け入れる場所がもっと増えることを願っています。



「笠松女子刑務所・金原明善記念館」 施設研修を終えて

調査研修部会 千代 雅人

守山保護区保護司会（調査研修部会）はコロナ禍が治まり、久しぶりに第三回自主研修として、笠松女子刑務所・金原明善記念館を一泊二日で施設研修を実施した。参加保護司は十三名だった。

十二月十二日（木）岐阜県の笠松女子刑務所は受刑者約五百人。主に窃盗・薬物等で

服役している。受刑者の高齢化が進んでいると看守長の馬場様より説明と施設の案内を受ける。看守長から「館内は冷暖房完備で三食、風呂付き但し、敷地外には出られません」との事であった。

施設内には、手に職を付ける為、職業訓練所（美容師等）施設も完備して出所後に更生して生計出来る為の準備をしている。看守の中には障害を持つておられる方も勤務されて居るのには驚かされた。

十二月十三日（金）金原明善記念館を視察する。金原明善は明治維新から大正時代に至り社会貢献一筋に生涯を捧げ

「天竜川治水事業」「植林事業」「天竜運輸」「天竜木材」「出獄人保護事業」等を興す。更



生保護事業の創始者として「勸善会」（出獄人保護会社）を創設し刑を終えた人々の救済活動に携わり、郷土の産業開発に私財を投じて社会公共事業に取り組む。

明善翁の三つの信条

実を先にして名を後にする
行を先にして言を後にする
事業を重んじて身を軽んず

二ヶ所施設見学して笠松刑務所は罪を犯した方の国の更生事業明善館記念館は更生する為の民間の事業、どちらも更生事業として人間愛を感じました。

保護司のつぶやき

わたしにしか
出来ないことも

野々村 利英

P.T.Aや地域のボランティアで出来た人との繋がりがから、保護司へのお誘いを頂きました。更生保護の仕事と私の本業とは縁遠く、また私にその様な力量も有りません。最初は戸惑いと不安でいっぱいでした。

犯したくて罪を犯す人はいないでしょうし、そうならざるを得なかった背後要因があるはずです。矛盾に満ちた現代社会では悩みや不安も尚更です。常識や習慣を超えて触法行為に至る道は、連続しているのかも知れません。その様な中で、平凡な生活こそが平和な日々を送る土壌です。日々の仕事や暮らしを大切にする、派手なことは出来なくとも、できるだけ平凡な生活を送って頂きたいと願うばかりです。そのためには上下の関係ではなく、共に生きる社会の構成員として寄り添って行けたらと考えています。とは言うものの、日々のスケジューリングと連絡調整に一苦労。想定外の事が起き、慌てて観察所へ問い合わせることも有ります。それでも「先輩保護司と同じようなことは出来なくとも、私にしか出来ないことも有るのでは」と思えるようになった今日この頃です。

令和六年度
秋の表彰に輝く法務大臣表彰
田中 修様

更生保護制度施行七十五周年記念式典において、永年にわたる更生保護活動の功績によりご受賞されました。
心よりお祝い申し上げます。

事業報告

社会を明るくする運動

- ・守山、野洲両市長へ総理大臣メッセージ伝達
- ・学校訪問
- ・街頭啓発活動
- （モリブ・守山駅・アルプラザ野洲・ザ・ビッグエクス）

更生保護関係団体との連携

- ・守山、野洲更生保護女性会総会への参加
- ・各地区更生保護女性会懇談会への参加
- ・ミニ集会への参加

地方公共団体、その他の関係団体との連携

- ・各市青少年育成市民会議への参加
- ・小、中学校との連携
- ・各地区補導（委員）との連携
- ・各市所管課との協議会開催
- ・社会福祉協議会との連携

更生援助会

- ・協力雇用主総会
- ・協力雇用主会の開拓

各種研修会の実施

- ・定例研修会（3回実施）
- ①保護司が保有する個人情報
の適切な取扱いについて
- ②生活環境の調整について
- 「関係書類の見かた・書きかた」

③保護観察処遇について

「CEP・類型別処遇・処遇区分を中心に」

④自主研修会（4回実施）

①人権研修

「地域の中で安心してくらせるために」

②更生保護法人盟親「視察研修

③笠松刑務所・明善記念館」視察研修

④「少年犯罪・薬物犯罪の現状と課題について」

・処遇研修の実施
「交流を通して学び合おう」

・映画鑑賞研修会
映画「記憶2」

・新任保護司との懇談会

広報活動

- ・保護司会報の発行・配布
- ・保護司会報の全戸回覧

社会貢献活動への協力・推進

その他

- ・保護司会総会
- ・理事会（毎月開催）

編集後記

昨年は新年早々から能登半島地震に始まり、夏には記録的な猛暑、豪雨災害も発生しました。年が明け2月には今季最長の強烈寒波が日本列島に居座り、記録的大雪となり自然の猛威に悩まされました。早く桜の便りが届かないものか。

さて、今号では第1面で、森中高史守山市長と櫻本直樹野洲市長に地域社会における再犯防止のための取り組みについてご寄稿いただきました。

第2・3面では大津保護観察所統括保護観察官より少年の保護観察の現状について述べていただき、社会を明るくする運動では、作文コンテスト中学生の部優秀作品から守山北中学校1年生 林莉渚さんの「新たな被害者を生まないために」と題した作文を紹介しています。また、千代調査研修部会長より自主研修「笠松刑務所並びに金原明善記念館」施設研修報告を掲載しました。第4面は保護司のつぶやき、表彰受賞の報告、および本会事業報告を掲載しました。